

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立竹矢小学校

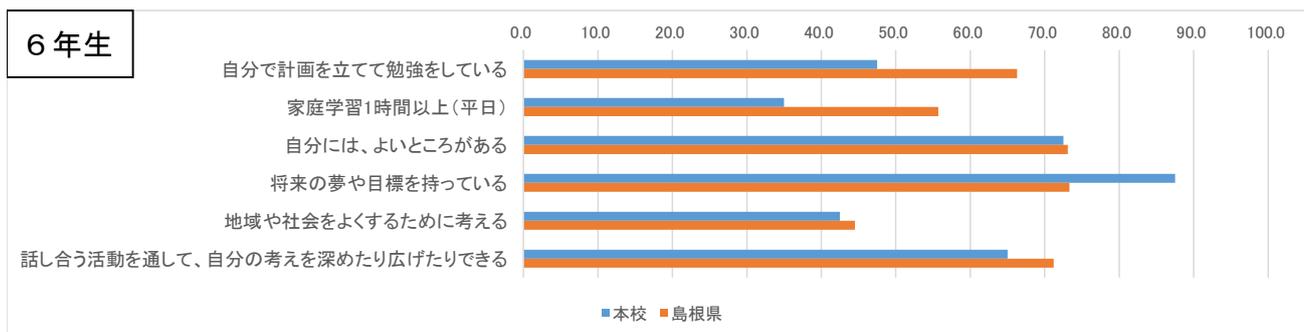
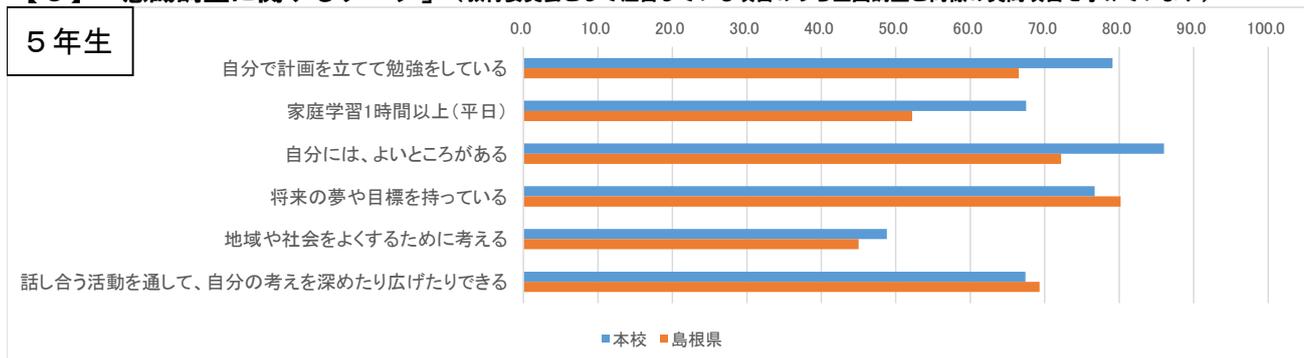
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○平均正答率が、県や全国の平均正答率を上回った。 ○記述式の設問での正答率が高く、粘り強く課題に取り組む姿勢が向上している。 ●「話すこと・聞くこと」領域の設問に対する正答率が、他領域と比較すると低い傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平均正答率が、県の平均正答率と同程度であった。 ○「話すこと・聞くこと」領域の設問に対する正答率が比較的高い。 ●「情報の扱い方に関する事項」や「言語文化に関する事項」にやや弱さがみられた。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○平均正答率が、県や全国の平均正答率を上回った。 ○基礎的な内容がよく定着しており、各領域や各観点の正答率のバランスが良い。 ●記述を伴う設問の正答率は県や全国を上回っているものの、本調査の示す目標値をわずかに下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「拡大図と縮図」の設問をはじめ、「図形」領域の学習の定着が良い。 ●平均正答率が、県の平均正答率をわずかに下回った。 ●「変化と関係」領域の設問に対する正答率が低かった。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定率や教科への取組に対する肯定率が高い。 ○学年相応の時間で計画的に取り組む家庭学習が確立しつつある。 ●話し合い活動で、解決方法を決めたり自分の考えを深めたりしようとする意識が県平均をわずかに下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高い割合でICTを学習利用している傾向が昨年度から継続している。 ○将来の夢や希望を持っている児童が多い。 ●計画的な家庭学習への取組が向上するよう、小中での連携をすすめていく必要がある。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】 5年生 43 名

6年生 40 名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)